

# ラジオで自殺止めたい

## いのちの電話が番組

【豊見城】自殺防止のための電話カウンセリング「沖縄いのちの電話」（国吉守理事長）と地域FM局「FMとよみ」（安慶名雅明社長、83・2マガル）が組んだラジオ番組「いのちの電話命どう宝」が7月に始まる。当事者をはじめリスナーに他人を思いやる心や命の大切さ呼び掛け、自殺を思いとどまらせることが狙い。

（天久仁）

内閣府調査によると2013年の全国の自殺者数は2万7283人。前年比575人減つたものの、県内は278人で前年から11人増えている。「いのちの電話」には昨年1年間に自殺をほのめかす内容の相談が1693件寄せられた。

安慶名社長の「ラジオ番組を通して自殺者を少なくしたい」との思いと、「沖縄いのちの電話」スタッフ

### FMとよみ月曜午前0時



との意見が一致。内容や構成など約1年間の準備期間を経て放送が決まった。

放送時間は月曜日の午前0時（日曜深夜）。休日を終えて落ち込む人が多いと言われる「ブルーマンデー」の直前に設定した。いのちの電話の相談員を養成する講師らがパーソナリティーを務め、「平和」「命の大切さ」「コミュニケーション」などのテーマを一話完結で語る。15分の放送枠をFMとよみが提供する。

国吉理事長は「電話を寄せるのは40〜50代が多いが最近では20代も増えている。電話をかけられない人、深夜眠れない人がラジオに耳を傾けることで、自殺を思い直してくれるのではないかと」期待を寄せている。

安慶名社長は「家や病院で聞く人がいるかもしれない。夜中のラジオが救いの声になってくれればうれし」と話している。

放送は7月7日午前0時（6日深夜）スタート。  
「沖縄いのちの電話」は  
電話098（8888）43  
43。（相談時間は午前10時〜午後11時）

「ラジオが自殺を思いとどまらせる力になれば」と話す（写真左から）「沖縄いのちの電話」の浜端宏次事務局長、国吉守理事長、渡久山朝裕運営委員。6月17日、豊見城市・FMとよみ